

令和6年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		鳥取県		市町村類型	Ⅲ－３	指定団体等の指定状況		区分	令和6年度(千円)	令和5年度(千円)	区分	令和6年度(千円・%)	令和5年度(千円・%)				
						財政健全化等	×	歳入総額	83,199,174	81,402,125	実質収支比率	1.7	1.8				
市町村名	米子市		地方交付税種地	1-4	財源超過	×	歳出総額	82,148,123	80,484,576	経常収支比率	93.1	91.4					
					首都	×	歳入歳出差引	1,051,051	917,549	(※1)	(93.5)	(92.3)					
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	482,049	328,363	標準財政規模	33,911,778	33,431,955					
						×	実質収支	569,002	589,186	財政力指数	0.65	0.65					
人口	令和2年国調(人)	147,317 <th colspan="2" rowspan="3">産業構造 (※5)</th> <th>中部</th> <td>×</td> <th>単年度収支</th> <td>-20,184</td> <td>-562,629</td> <th>公債費負担比率</th> <td>14.0</td> <td>14.5</td>	産業構造 (※5)		中部	×	単年度収支	-20,184	-562,629	公債費負担比率	14.0	14.5					
	平成27年国調(人)	149,313 <th>過疎</th> <td>×</td> <th>積立金</th> <td>277,941</td> <td>282,341</td> <th>健全化判断比率</th> <td></td> <td></td>			過疎	×	積立金	277,941	282,341	健全化判断比率							
	増減率 (％)	-1.3			山振	×	繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-					
住民基本台帳人口 (※7)	令07.01.01(人)	144,056 <th>区分</th> <th>令和2年国調</th> <th>平成27年国調</th> <th>低開発</th> <td>×</td> <th>積立金取崩し額</th> <td>417,947</td> <td>292,549</td> <th>連結実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>	区分	令和2年国調	平成27年国調	低開発	×	積立金取崩し額	417,947	292,549	連結実質赤字比率	-	-				
	うち日本人(人)	142,326 <th rowspan="2">第1次</th> <td>2,204</td> <td>2,451</td> <th>指数表選定</th> <td>○</td> <th>実質単年度収支</th> <td>-160,190</td> <td>-572,837</td> <th>実質公債費比率</th> <td>9.3</td> <td>8.7</td>	第1次	2,204	2,451	指数表選定	○	実質単年度収支	-160,190	-572,837	実質公債費比率	9.3	8.7				
	令06.01.01(人)	145,163 <td>3.3</td> <td>3.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <th>将来負担比率</th> <td>46.8</td> <td>45.4</td>		3.3	3.6					将来負担比率	46.8	45.4					
	うち日本人(人)	143,587 <th rowspan="2">第2次</th> <td>13,580</td> <td>14,219</td> <td></td> <td></td> <th>基準財政収入額</th> <td>18,631,297</td> <td>18,505,968</td> <th rowspan="5">資金不足比率 (※4)</th> <td rowspan="5"></td> <td rowspan="5"></td>	第2次	13,580	14,219			基準財政収入額	18,631,297	18,505,968	資金不足比率 (※4)						
	増減率 (％)	-0.8 <td>20.2</td> <td>20.8</td> <td></td> <td></td> <th>基準財政需要額</th> <td>28,849,751</td> <td>28,203,068</td>		20.2	20.8			基準財政需要額	28,849,751	28,203,068							
	うち日本人(%)	-0.9 <th rowspan="2">第3次</th> <td>51,308</td> <td>51,799</td> <td></td> <td></td> <th>標準税収入額等</th> <td>23,576,077</td> <td>23,424,915</td>	第3次	51,308	51,799			標準税収入額等	23,576,077	23,424,915							
面積 (km ²)	132.42 <td>76.5</td> <td>75.7</td> <td></td> <td></td> <th>経常経費充当一般財源等</th> <td>32,866,108</td> <td>31,330,226</td>	76.5		75.7			経常経費充当一般財源等	32,866,108	31,330,226								
人口密度 (人/km ²)	1,112					歳入一般財源等	41,604,300	41,068,357									
世帯数 (世帯)	62,134																
職員の状況 (※8)																	
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等 (※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高 うち公的資金	57,704,427	58,625,369						
	市区町村長	1	9,740 <th>一般職員</th> <td>833</td> <td>2,527,322</td> <td>3,034</td> <td>地方債現在高(臨時財政対策債除き)</td> <td>26,124,982</td> <td>26,143,347</td> <td></td> <td></td>		一般職員	833	2,527,322	3,034	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	26,124,982	26,143,347						
	副市区町村長	1	8,110 <th>うち消防職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>債務負担行為額(支出予定額)</td> <td>37,868,721</td> <td>36,932,127</td> <td></td> <td></td>		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	37,868,721	36,932,127						
	教育長	1	6,950 <th>うち技能労務職員</th> <td>2</td> <td>*</td> <td>*</td> <td>収益事業収入</td> <td>21,942,852</td> <td>24,041,162</td> <td></td> <td></td>		うち技能労務職員	2	*	*	収益事業収入	21,942,852	24,041,162						
	議会議長	1	5,560 <th>教育公務員</th> <td>12</td> <td>46,308</td> <td>3,859</td> <td>土地開発基金現在高</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> <td></td>		教育公務員	12	46,308	3,859	土地開発基金現在高	-	-						
	議会副議長	1	4,870 <th>臨時職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <th rowspan="2">財政調整基金</th> <td>2,823,065</td> <td>2,963,071</td> <td></td> <td></td>		臨時職員	-	-	-	財政調整基金	2,823,065	2,963,071						
	議会議員	24	4,510 <th>合計</th>		合計	845	2,573,630	3,046		積立金現在高	1,445,054	1,868,588					
										減債基金	7,979,440	7,203,809					
										その他特定目的基金							
一般会計等の一覧																	
項番	会計名	事業会計の一覧	項番	会計名	公営企業(法適)の一覧	項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧	項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧	項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧	項番	団体名	(※3)
(1)	一般会計	(4)	国民健康保険事業特別会計	(8)	水道事業会計	(10)	米子インター周辺工業用地整備事業特別会計	(12)	鳥取県後期高齢者医療広域連合	(16)	一般財団法人米子市開発公社			(18)	一般財団法人勤労者福祉サービスセンター		
(2)	土地取得事業特別会計	(5)	介護保険事業特別会計	(9)	下水道事業会計	(11)	米子インター西産業用地整備事業特別会計	(13)	鳥取県後期高齢者医療広域連合	(17)	一般財団法人米子市文化財団			(19)	株式会社白鳳		
(3)	市営墓地事業特別会計	(6)	後期高齢者医療特別会計					(14)	米子市日吉津村中学校組合	(20)	公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団			(21)	財団法人とっとりコンベンションビューロー		
		(7)	駐車場事業特別会計					(15)	鳥取県西部広域行政管理組合	(22)	公益財団法人鳥取県林業担い手育成財団						

(注釈) ※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
※7：人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
※8：職員の状況については、調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分		
地方税	18,949,346	22.8	18,949,346	53.9	普通税	18,888,019	99.7	935,089		
地方譲与税	395,202	0.5	395,202	1.1	法定普通税	18,888,019	99.7	935,089		
利子割交付金	12,390	0.0	12,390	0.0	市町村民税	8,680,767	45.8	363,127		
配当割交付金	179,539	0.2	179,539	0.5	個人均等割	231,534	1.2			
株式等譲渡所得割交付金	235,032	0.3	235,032	0.7	所得割	6,931,551	36.6			
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	588,928	3.1	98,076		
地方消費税交付金	3,905,539	4.7	3,905,539	11.1	法人税割	928,754	4.9	265,051		
ゴルフ場利用税交付金	6,496	0.0	6,496	0.0	固定資産税	8,603,924	45.4	571,962		
自動車取得税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	8,567,953	45.2	571,962		
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	554,249	2.9			
自動車税環境性能割交付金	47,509	0.1	47,509	0.1	市町村たばこ税	1,049,079	5.5			
法人事業税交付金	310,595	0.4	310,595	0.9	鉱産税	-	-			
地方特例交付金等	811,132	1.0	811,132	2.3	特別土地保有税	-	-			
住宅借入金等特別税額控除減収補填特例交付金	153,368	0.2	153,368	0.4	法定外普通税	-	-			
定額減税減収補填特例交付金	642,502	0.8	642,502	1.8	目的税	61,327	0.3			
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特例交付金	15,262	0.0	15,262	0.0	法定目的税	61,327	0.3			
地方交付税	11,569,115	13.9	10,189,092	29.0	入湯税	61,327	0.3			
普通交付税	10,189,092	12.2	10,189,092	29.0	事業所税	-	-			
特別交付税	1,380,023	1.7	-	-	都市計画税	-	-			
震災復興特別交付税	-	-	-	-	水利地益税等	-	-			
（一般財源計）	36,421,895	43.8	35,041,872	99.7	法定外目的税	-	-			
交通安全対策特別交付金	13,937	0.0	13,937	0.0	旧法による税	-	-			
分担金・負担金	623,650	0.7	-	-	合計	18,949,346	100.0	935,089		
使用料	439,932	0.5	-	-	区分					
手数料	755,728	0.9	-	-	令和6年度		令和5年度			
国庫支出金	16,893,179	20.3	-	-	徴収率 (%) 現・計 年	合計	99.4	98.2	99.4	98.3
国有提供交付金(特別区財調交付金)	85,869	0.1	85,869	0.2		市町村民税	99.5	98.6	99.4	98.6
都道府県支出金	6,801,017	8.2	-	-		純固定資産税	99.2	97.6	99.3	97.8
財産収入	276,108	0.3	762	0.0	公営事業等への繰出					
寄附金	1,671,984	2.0	-	-	国民健康保険事業会計の状況					
繰入金	2,214,598	2.7	-	-	合計	7,949,164	実質収支	577,284		
繰越金	917,549	1.1	-	-	下水道	1,773,684	再差引収支	350,146		
諸収入	11,226,719	13.5	2,937	0.0	駐車場整備	59,851	加入世帯数(世帯)	16,078		
地方債	4,857,009	5.8	-	-	宅地造成	40,965	被保険者数(人)	22,752		
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-	上水道	14,265	被保険者 1人当り	保険税(料)収入額		
うち臨時財政対策債	146,609	0.2	-	-	国民健康保険	1,334,169		99		
歳入合計	83,199,174	100.0	35,145,377	100.0	その他	4,726,230		国庫支出金 保険給付費		
								406		

（注釈）
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	347,931	0.4	5,318	344,018	
総務費	8,795,149	10.7	176,059	4,860,432	
民生費	32,057,611	39.0	1,140,694	15,065,110	
衛生費	5,360,300	6.5	367,130	3,697,903	
労働費	143,280	0.2	10,567	31,575	
農林水産業費	1,269,890	1.5	461,499	646,676	
商工費	11,331,142	13.8	125,446	986,215	
土木費	7,151,796	8.7	3,771,058	3,436,791	
消防費	1,906,785	2.3	71,994	1,811,995	
教育費	7,773,269	9.5	3,013,880	3,861,520	
災害復旧費	4,997	0.0	-	2,924	
公債費	6,005,973	7.3	-	5,808,090	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	82,148,123	100.0	9,143,645	40,553,249	
性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	35,928,086	43.7	20,367,680	17,923,583	50.8
人件費	8,612,106	10.5	7,594,136	7,205,816	20.4
うち職員給	4,784,718	5.8	4,204,032	-	-
扶助費	21,310,007	25.9	6,965,454	4,909,677	13.9
公債費	6,005,973	7.3	5,808,090	5,808,090	16.5
元利償還金	6,005,545	7.3	5,807,662	5,807,662	16.5
うち元金	5,777,951	7.0	5,581,343	5,581,343	15.8
うち利子	227,594	0.3	226,319	226,319	0.6
一時借入金利子	428	0.0	428	428	0.0
その他の経費	37,071,395	45.1	19,058,451	14,942,525	42.3
物件費	9,056,810	11.0	5,877,890	4,636,881	13.1
維持補修費	906,852	1.1	805,771	720,524	2.0
補助費等	8,196,805	10.0	6,418,895	4,557,832	12.9
うち一部事務組合負担金	2,645,240	3.2	2,645,130	2,610,163	7.4
繰出金	6,161,215	7.5	5,054,252	4,719,077	13.4
積立金	2,283,586	2.8	589,633	-	-
投資・出資金・貸付金	10,466,127	12.7	312,010	308,211	0.9
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	9,148,642	11.1	1,127,118	-	-
うち人件費	185,997	0.2	185,997	-	-
普通建設事業費	9,143,645	11.1	1,124,194	-	-
うち補助	5,633,420	6.9	464,746	-	-
うち単独	3,354,860	4.1	655,012	-	-
災害復旧事業費	4,997	0.0	2,924	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	82,148,123	100.0	40,553,249	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

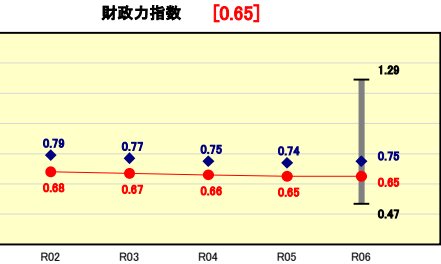
会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	83,857	82,841	1,015	533	2,202	57,605	
2 土地取得事業特別会計	47	47	0	-	47	94	
3 市営墓地事業特別会計	61	25	36	36	0	0	
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人	144,056	人(R7.1.1現在)	実	実	赤	字	比	率	-	%
うち日本人	142,326	人(R7.1.1現在)	通	結	実	実	赤	字	比	率
口	132.42	km ²	実	実	公	債	費	比	率	9.3
入	83,199,174	千円	得	来	負	担	比	率	46.8	%
出	82,148,123	千円	市	町	村	類	型	R02	Ⅲ-3	R03
実	569,002	千円	(	年	度	毎	)	R05	Ⅲ-3	R06
標準財政規模	33,911,778	千円								
地方債現在高	57,704,427	千円								

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスパイレス指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

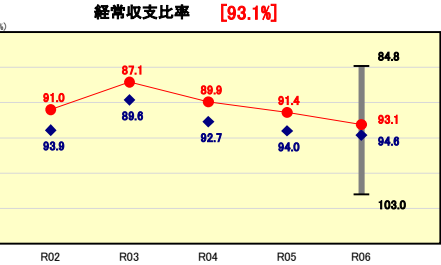
財政力



類似団体内順位 41/62 全国平均 0.49 鳥取県平均 0.31

財政力指数の分析欄
財政力指数については、前年度と同様の0.65となったが、単年度では、基準財政需要額の伸びが基準財政収入額の伸びを上回ったことから、前年度の0.656から0.646へ0.01ポイント悪化した。
類似団体も概ね横ばいで推移しており、大幅な変動は生じていない。引き続き、市税等の徴収率の維持向上や企業誘致の推進等による税源涵養に努めることで歳入確保に努めていく。

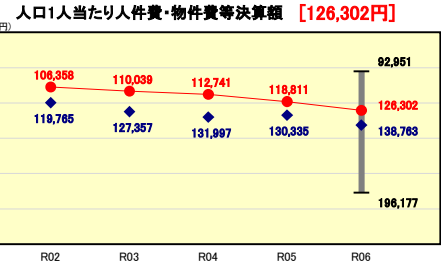
財政構造の弾力性



類似団体内順位 18/62 全国平均 93.6 鳥取県平均 91.6

経常収支比率の分析欄
経常収支比率については、前年度から1.7ポイント悪化し93.1%となった。これは、会計年度任用職員への勤勉手当の支給開始や定年延長により隔年となった定年退職者への退職手当の支給を行ったこと等により、人件費だけで1.8ポイントの上昇が生じたこと等によるもの。
概ね類似団体も同様の傾向で推移しており、本市は類似団体の平均を上回っている状況である。引き続き、行財政改革大綱や職員定員管理計画の取組の推進、既存事業の見直し等により、財政の弾力性の向上に努めていく。

人件費・物件費等の状況



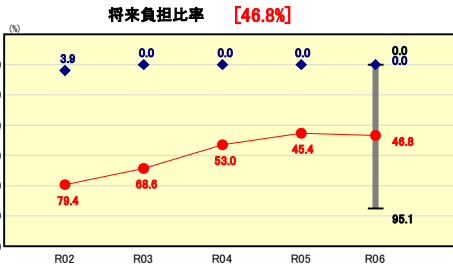
類似団体内順位 19/62 全国平均 169,281 鳥取県平均 195,983

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
人口1人当たりの人件費・物件費等は、前年度から7,491円増加し126,302円となった。これは、人事院勧告を踏まえた給与改定や会計年度任用職員への勤勉手当の支給開始等による人件費の増や基幹業務システムの標準化対応に係る経費及び物価高騰に伴う物件費の増等によるもの。
概ね類似団体も同様の傾向で推移しており、本市は平均を上回っている状況である。引き続き、DXや職員定員管理計画の推進等による行政コスト低減を通じて、水準の維持向上に努めていく。

令和6年度

鳥取県米子市

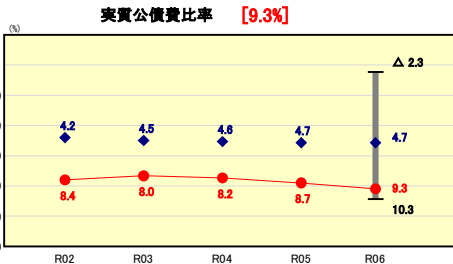
将来負担の状況



類似団体内順位 58/62 全国平均 6.2 鳥取県平均 34.6

将来負担比率の分析欄
将来負担比率については、前年度から1.4ポイント悪化し46.8%となった。これは、算定対象となる建設事業債の残高の増により、将来負担額が増加したこと等によるものである。
今後も米子アリーナ、美保地区の義務教育学校等の大型投資的事業の実施が続くことから、大幅な良化は見込めないものの、引き続き、第5次行財政改革大綱における目標値の100%以下の維持に向けて、投資的経費の選択と集中や国県補助金の確保、交付税措置率の高い有利な地方債の活用を図っていく。

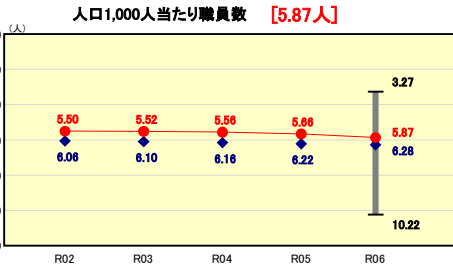
公債費負担の状況



類似団体内順位 60/62 全国平均 5.6 鳥取県平均 9.3

実質公債費比率の分析欄
実質公債費比率については、前年度から0.6ポイント悪化し9.3%となった。これは、学校の長寿寿命化等の近年の大型投資的事業の起債の償還が本格化したことにより、算定対象となる元利償還金が増加したこと等によるものである。
今後もがいなロード等の近年の大規模投資に係る起債の償還が本格化するため、大幅な良化は見込めないものの、引き続き、行財政改革大綱の目標値10%以下の維持に向けて、投資的経費の選択と集中や国県補助金の確保、交付税措置率の高い有利な地方債の活用を図っていく。

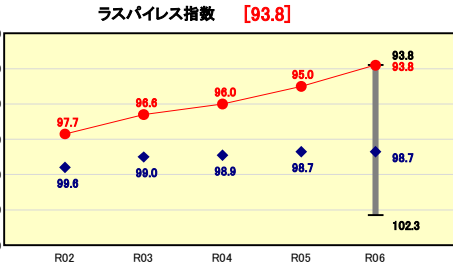
定員管理の状況



類似団体内順位 24/62 全国平均 8.41 鳥取県平均 8.48

人口1,000人当たり職員数の分析欄
人口1,000人当たりの職員数は、事業の拡大や突発的なイベントの対応等により、近年はわずかずつではあるが増加傾向である。
今後も、一定の職員数を維持しつつ、民間委託やDX推進等の業務効率化による職員定員管理計画の推進により、適正な職員定数の管理に努める。

給与水準 (国との比較)



類似団体内順位 1/62 全国市平均 98.6 全国町村平均 96.4

ラスパイレス指数の分析欄
ラスパイレス指数は、職務給の原則に基づく給与水準の適正化や、採用年齢の拡大、任期付職員の採用といった多様な働き方への取組等により、類似団体平均値を4.9ポイント下回っている。
今後も引き続き、給与水準の適正化を図っていく。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和6年度

鳥取県米子市

経常収支比率の分析

人口	144,056	人(R7.1.1現在)			
うち日本人	142,326	人(R7.1.1現在)			
面積	132.42	km ²			
歳入総額	83,199,174	千円	実質赤字比率	-	%
歳出総額	82,148,123	千円	連結実質赤字比率	-	%
実質収支	569,002	千円	実質公債費比率	9.3	%
標準財政規模	33,911,778	千円	将来負担比率	46.8	%
地方債現在高	57,704,427	千円	市町村類型	R02 Ⅲ-3 R03 Ⅲ-3 R04 Ⅲ-3	
			(年度毎)	R05 Ⅲ-3 R06 Ⅲ-3	

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

人件費

類似団体内順位 5/82 全国平均 26.6 鳥取県平均 24.6

人件費の分析欄
人件費に係る経常収支比率については、前年度から1.8ポイント悪化し20.4%となった。これは、会計年度任用職員への勤勉手当の支給開始や定年延長により隔年となった定年退職者への退職手当の支給を行ったこと等によるものである。
概ね類似団体も同様の傾向で推移しており、本市は類似団体の平均を下回っている状況である。引き続き、DX・BPRや職員定員管理計画の推進等により、水準の維持向上に努めていく。

扶助費

類似団体内順位 25/82 全国平均 13.4 鳥取県平均 9.8

扶助費の分析欄
扶助費に係る経常収支比率については、前年度から0.4ポイント悪化し13.9%となった。これは、高齢化の進展や公定価格の改定に伴う保育園等への給付費の増等によるものである。
概ね類似団体も同様の傾向で推移しており、今後も高齢化の進展等により漸増していくものと分析している。

公債費

類似団体内順位 53/82 全国平均 15.0 鳥取県平均 16.7

公債費の分析欄
公債費に係る経常収支比率については、前年度から0.9ポイント悪化し16.5%となった。これは、過去に借り入れた地方債の償還が終了したことによる元金償還金の減によるものである。
しかし、類似団体の平均を上回っている状況であり、投資的経費の選択と集中による公債費の平準化や実質的な公債費の負担を軽減するため交付税措置率の高い有利な地方債の活用を図っていく。

物件費

類似団体内順位 4/82 全国平均 15.6 鳥取県平均 13.6

物件費の分析欄
物件費に係る経常収支比率については、前年度から0.4ポイント悪化し13.1%となった。これは、物価高騰に伴う各種委託料等の増があったものの、母母である経常一般財源等の伸びが上回ったことによるものである。
類似団体の平均を4.6ポイント下回っている状況であり、引き続き財政改革大綱の取組の推進等により指標の維持向上に努めていく。

補助費等

類似団体内順位 47/82 全国平均 10.7 鳥取県平均 14.7

補助費等の分析欄
補助費等に係る経常収支比率については、前年度から0.1ポイント悪化し12.9%とほぼ横ばいだった。
類似団体の平均を2.3ポイント上回っている状況であるため、引き続き補助金見直しの取組の推進や一部事務組合のスリム化等により指標の低減に努めていく。

その他

類似団体内順位 57/82 全国平均 12.5 鳥取県平均 12.4

その他の分析欄
その他に係る経常収支比率については、前年度から0.9ポイント悪化し16.3%となった。これは、他会計への繰出金の増のほか、物価高騰等による維持補修費の増等によるものである。
類似団体の平均を2.8ポイント上回っている状況であるため、引き続き公共施設等総合管理計画の推進等により指標の低減に努めていく。

公債費以外

類似団体内順位 7/82 全国平均 78.8 鳥取県平均 75.1

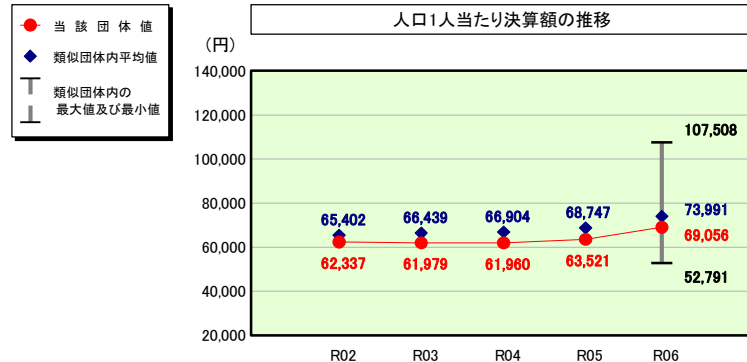
公債費以外の分析欄
公債費以外に係る経常収支比率については、前年度から2.6ポイント悪化し76.6%となった。類似団体の平均を5.1ポイント下回っており、前年度と同様に7番目に低い水準となっている。
特徴としては、補助費等の割合が高く、人件費・物件費の割合が低いことがあげられ、全体としては類似団体の平均と概ね同程度で推移している。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和6年度

鳥取県米子市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

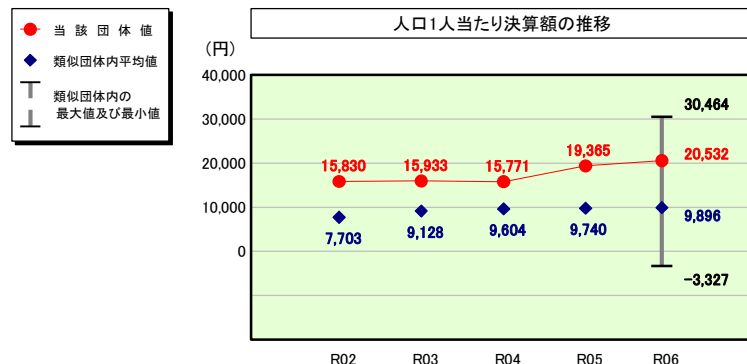
	当該団体決算額 (千円)	当該団体 (円)	人口1人当たり決算額 類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	8,612,106	59,783	68,274	▲ 12.4
一部事務組合負担金(補助費等)	1,285,982	8,927	4,860	83.7
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	87,727	609	567	7.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	16	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	343,402	2,384	2,777	▲ 14.2
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	185,997	1,291	1,330	▲ 2.9
▲退職金	▲ 567,256	▲ 3,938	▲ 3,833	2.7
合計	9,947,958	69,056	73,991	▲ 6.7

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	5.87	6.28	▲ 0.41
ラスパイレス指数	93.8	98.7	▲ 4.9

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

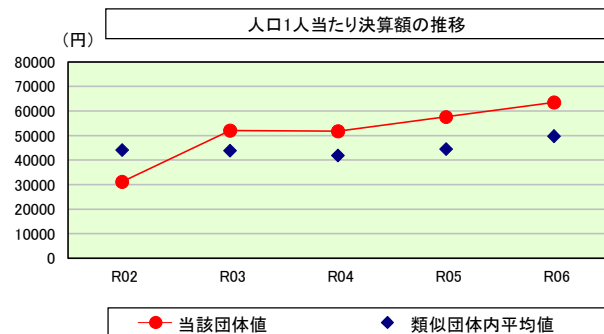
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	当該団体 (円)	人口1人当たり決算額 類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	6,005,367	41,688	32,402	28.7
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	16	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	1,178,861	8,183	5,520	48.2
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	265,228	1,841	1,296	42.1
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	45,984	319	571	▲ 44.1
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	109	1	0	0.0
▲特定財源の額	▲ 194,919	▲ 1,353	▲ 6,093	▲ 77.8
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 4,342,810	▲ 30,147	▲ 23,816	26.6
合計	2,957,820	20,532	9,896	107.5

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

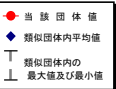
	当該団体決算額 (千円)	当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	人口1人当たり決算額 類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
R02	4,603,396	31,202	▲ 41.8	44,161	3.1	▲ 44.9
うち単独分	2,055,306	13,931	▲ 44.7	23,644	3.1	▲ 47.8
R03	7,660,766	52,150	67.1	43,955	▲ 0.5	67.6
うち単独分	3,334,232	22,697	62.9	21,318	▲ 9.8	72.7
R04	7,566,880	51,779	▲ 0.7	41,921	▲ 4.6	3.9
うち単独分	2,918,993	19,974	▲ 12.0	21,655	1.6	▲ 13.6
R05	8,359,417	57,586	11.2	44,585	6.4	4.8
うち単独分	3,449,623	23,764	19.0	23,077	6.6	12.4
R06	9,143,645	63,473	10.2	49,779	11.6	▲ 1.4
うち単独分	3,354,860	23,289	▲ 2.0	28,921	25.3	▲ 27.3
過去5年間平均	7,466,821	51,238	9.2	44,880	3.2	6.0
うち単独分	3,022,603	20,731	4.6	23,723	5.4	▲ 0.8

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和6年度

鳥取県米子市

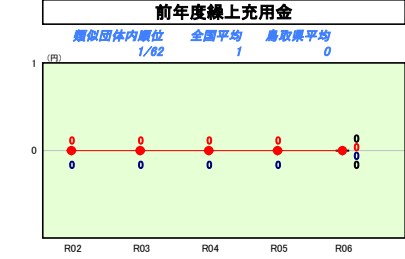
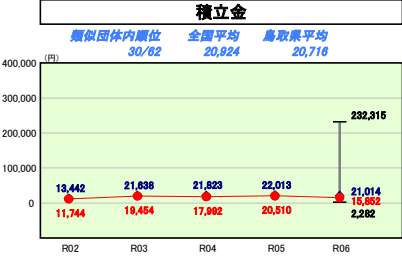
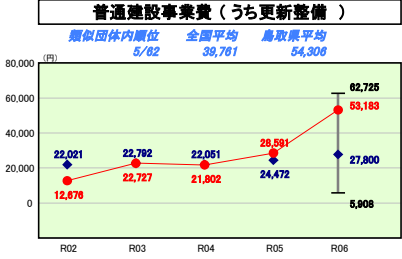
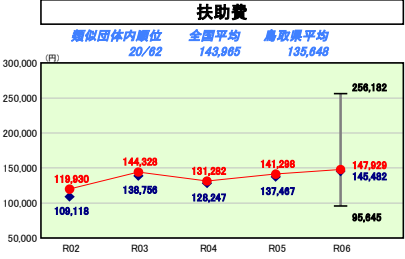
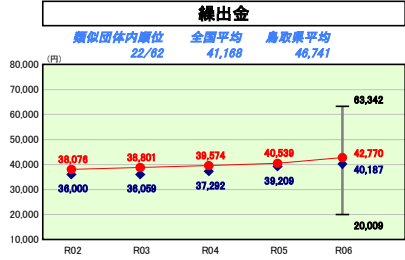
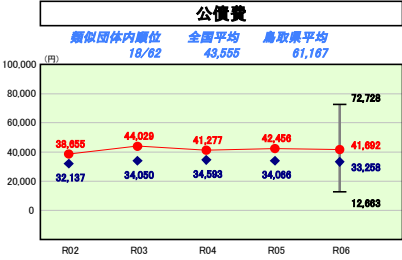
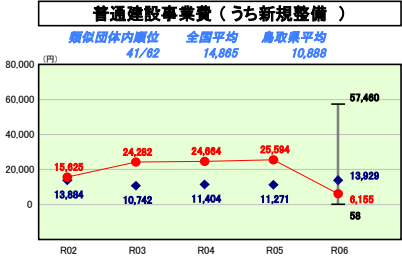
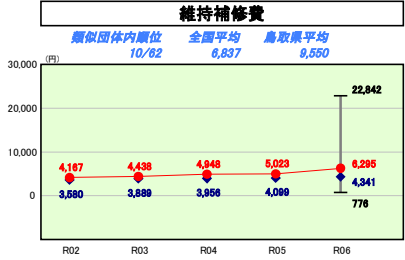
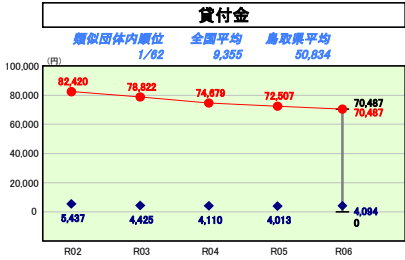
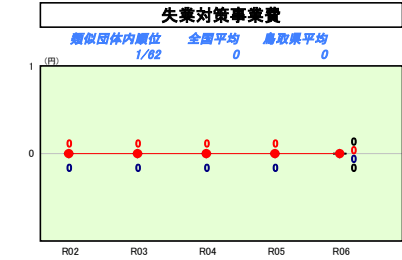
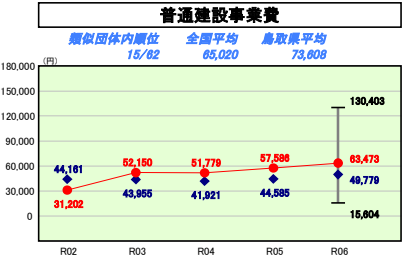
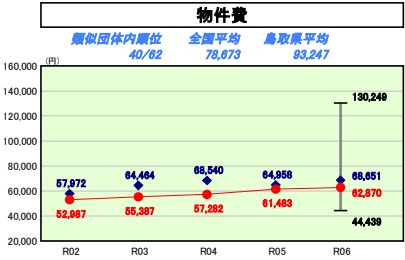
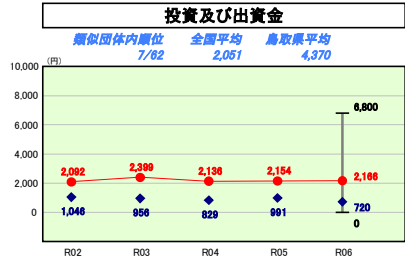
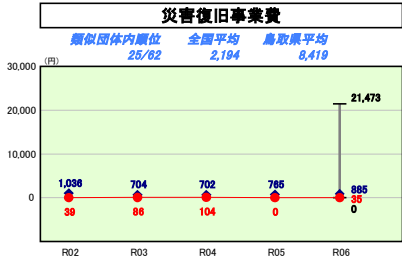
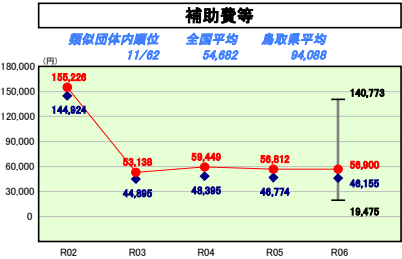
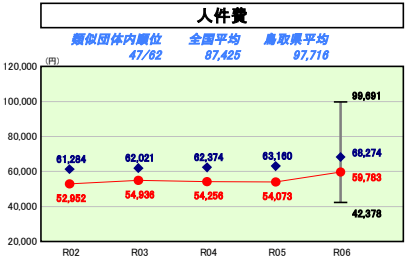
人口	144,056 人 (R7.1.1現在)	実 質 赤 字 比 率	-	%
うち日本人	142,326 人 (R7.1.1現在)	通 算 実 質 赤 字 比 率	-	%
面積	132.42 km ²	実 質 公 債 費 比 率	9.3	%
歳入総額	83,198,174 千円	特 定 負 担 比 率	46.8	%
歳出総額	82,148,123 千円	市 町 村 類 型	R02 Ⅲ-3 R03 Ⅲ-3 R04 Ⅲ-3	
実 質 収 入	569,002 千円	(年 度 毎)	R05 Ⅲ-3 R06 Ⅲ-3	
標準財政規模	33,911,778 千円			
地方債現在高	67,704,427 千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析概

本市の歳出決算総額に係る住民一人当たりのコストは570,251円であり、前年度より15,808円増加した。主な構成費目や類似団体の平均と大きな乖離がみられる項目の分析については以下のとおりである。

人件費 … 会計年度任用職員への勤続手当の支給開始や人事院勧告に基づく給与改定等により前年度比5,710円の増となっているものの、類似団体も同様の傾向であり、全国・類似団体・県内平均のいずれと比較しても下回っている。

扶助費 … 国の施策である定額減税への対応や児童手当の拡充等による給付の増により前年度比6,631円の増となっているものの、類似団体も同様の傾向であり、概ね平均と同程度で推移している。

貸付金 … 本市及び県内他自治体特有の要因として、県と協調した事業者への制度融資に係る預託を行っており、近年は一部利子補助への対応を行っていること等から減少傾向ではあるものの、類似団体・全国平均と比較しても大きく上回っている。

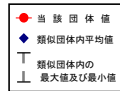
普通建設事業費…新規整備はがいなロードがR5年度で完成したこと等により大幅減となったが、更新整備は東保育園やどらドラパーク米子市民球場等の大規模改修により大幅増となった。全体では前年度比5,887円の増となり、類似団体平均は上回ったものの全国・県内平均よりは下回っている。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和6年度

鳥取県米子市

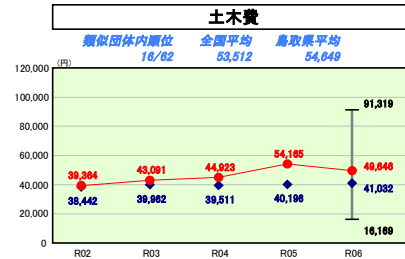
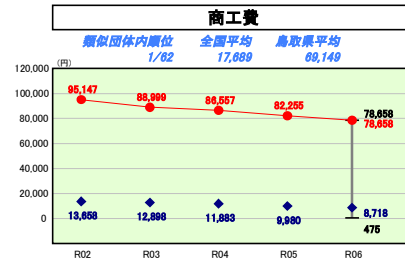
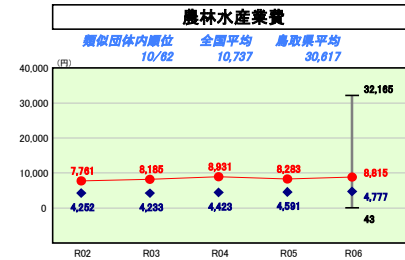
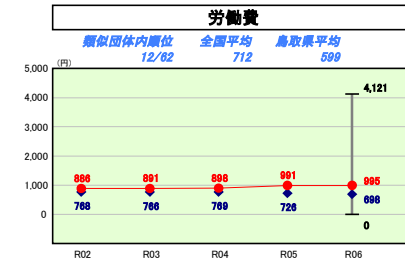
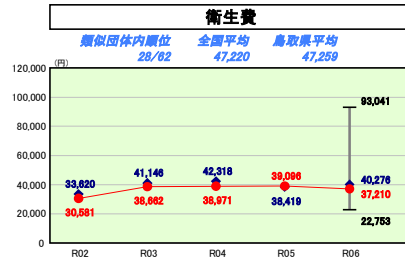
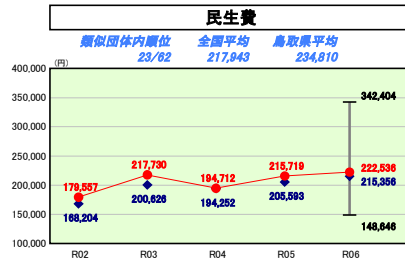
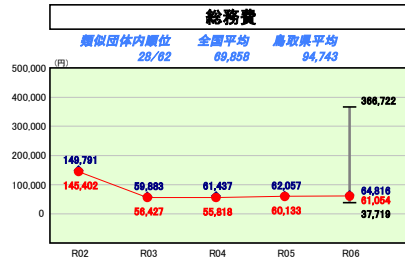
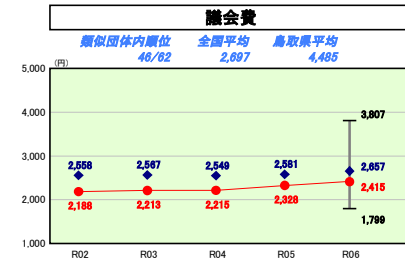
人口	144,056人(7.1.1現在)	実 質 赤 字 比 率	-	%
うち日本人	142,326人(7.1.1現在)	通 算 実 質 赤 字 比 率	-	%
面積	132.42km ²	実 質 公 債 費 比 率	9.3	%
入 総 額	83,198,174千円	未 来 負 担 比 率	46.8	%
出 総 額	82,148,123千円	市 町 村 類 型	R02 Ⅲ-3 R03 Ⅲ-3 R04 Ⅲ-3	
実 収 支	569,002千円	(年 度 毎)	R05 Ⅲ-3 R06 Ⅲ-3	
標準財政規模	33,911,778千円			
地方債現在高	67,704,427千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

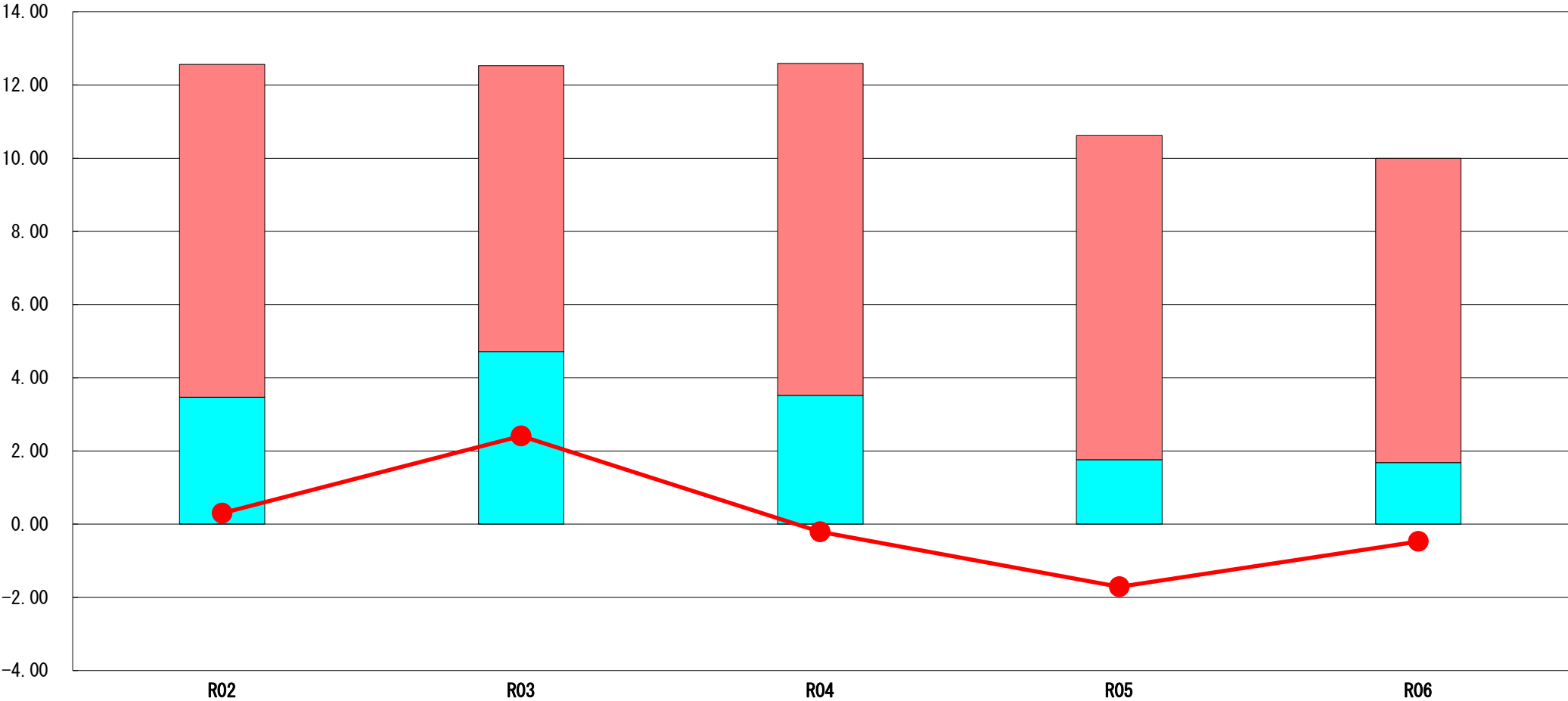


(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

令和6年度

鳥取県米子市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

区分	年度	R02	R03	R04	R05	R06
財政調整基金残高		9.09	7.81	9.07	8.86	8.32
実質収支額		3.47	4.72	3.52	1.76	1.68
実質単年度収支		0.30	2.41	▲ 0.21	▲ 1.71	▲ 0.47

分析欄

財政調整基金残高については、令和5年度以降は物価高騰への緊急的な対応等により取崩しを行っているため漸減傾向となっている。引き続き、災害等の不測の事態に機動的に対応するために適正な残高水準の維持に努めていく。

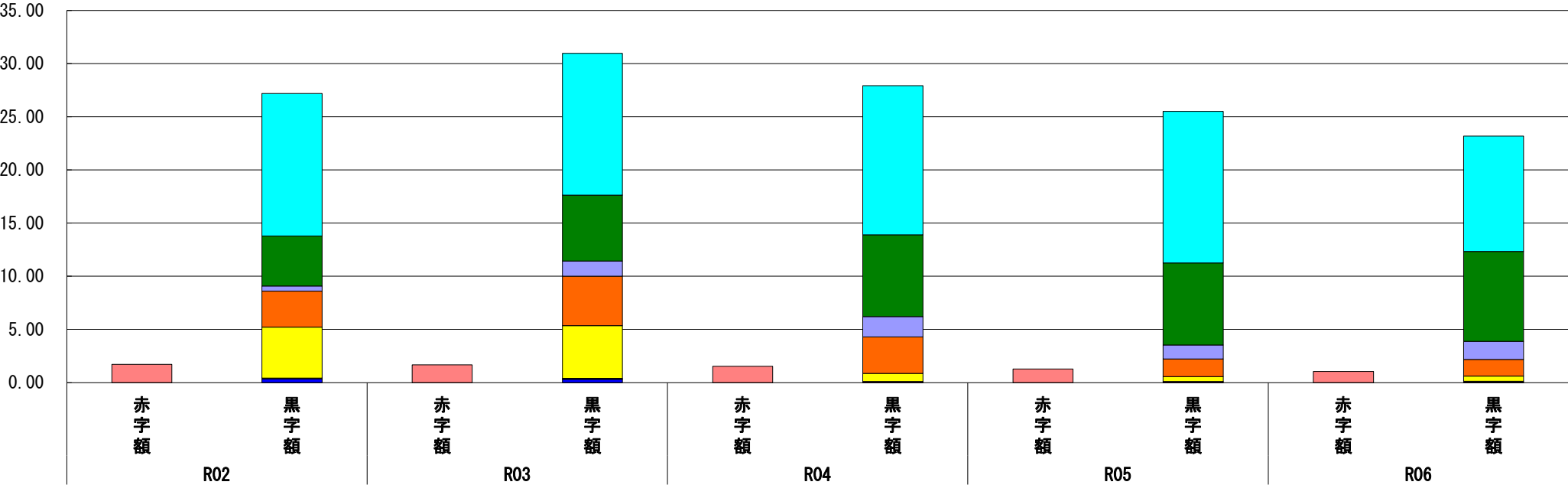
また、実質単年度収支については、財政調整基金の取崩し等により令和4年度以降は赤字が続いているものの、令和6年度は前年度より赤字幅が減少した。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和6年度

鳥取県米子市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	R02	R03	R04	R05	R06
駐車場事業特別会計		▲ 1. 71	▲ 1. 67	▲ 1. 54	▲ 1. 29	▲ 1. 05
水道事業会計		13. 40	13. 34	14. 01	14. 26	10. 84
下水道事業会計		4. 69	6. 21	7. 71	7. 72	8. 45
国民健康保険事業特別会計		0. 48	1. 42	1. 91	1. 33	1. 70
一般会計		3. 40	4. 64	3. 42	1. 65	1. 57
介護保険事業特別会計		4. 78	4. 96	0. 77	0. 44	0. 48
市営墓地事業特別会計		0. 07	0. 07	0. 08	0. 10	0. 10
後期高齢者医療特別会計		0. 01	0. 01	0. 02	0. 02	0. 03
その他会計（赤字）		－	－	－	－	－
その他会計（黒字）		0. 35	0. 32	0. 00	0. 00	0. 00

分析欄

黒字要素の大きい水道事業会計においては、令和5年度からの繰越工事が多かったことによる現金預金の減少等により黒字額が減少した。

その他の会計においては概ね前年度と同程度の水準となったものの、全体の黒字額は減少した。

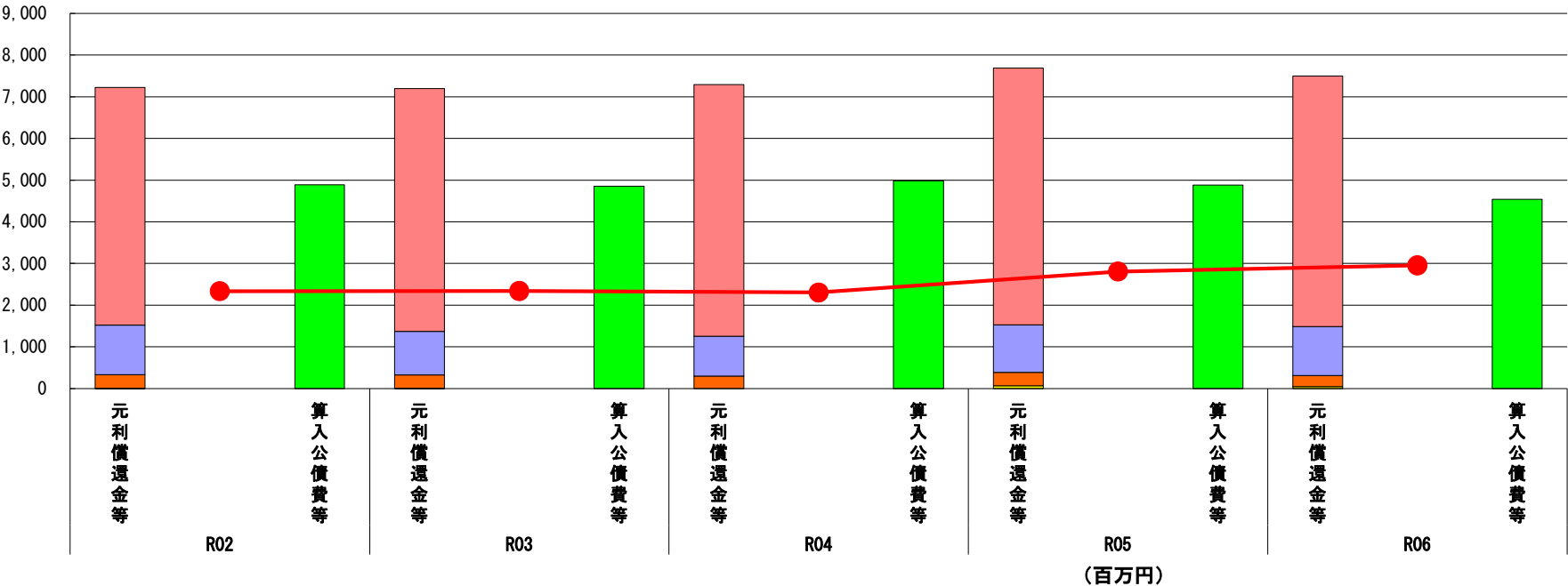
駐車場事業特別会計においては、過去の施設の建設費に係る地方債の償還費の累積による赤字が生じているが、一般会計からの計画的な繰入やコロナ禍で落ち込んでいた駐車場収入の回復により、近年の単年度収支は黒字となっており、赤字額は縮小傾向となっている。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和6年度

鳥取県米子市

（百万円）



分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
元利償還金等 (A)	元利償還金		5,703	5,821	6,032	6,162	6,005
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		1,192	1,047	959	1,138	1,179
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		324	324	296	323	265
	債務負担行為に基づく支出額		2	-	-	67	46
	一時借入金の利子		3	1	0	0	0
算入公債費等 (B)	算入公債費等		4,888	4,852	4,982	4,881	4,539
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		2,336	2,341	2,305	2,809	2,956

分析欄

元利償還金は、過去に借り入れた地方債の償還が終了したことによる元金償還金の減等により減少したものの、算入公債費等は、過去に借り入れた臨時財政対策債の交付税措置が終了したこと等により減少したため、実質公債費比率の分子は147百万円増加した。

今後も、近年の大型投資的事業の償還が本格化することから漸増傾向が続くものと見込まれるが、投資的経費の選択と集中や国県補助金の確保による公債費の平準化、交付税措置率の高い地方債の活用等により、実質公債費比率の10%以下の維持に努めていく。

※ 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D) / (E))

（参考）		年度	R02	R03	R04	R05	R06
減債基金積立状況等（注）	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額 (C)						
	前年度末減債基金残高 (D)						
	前年度末減債基金積立相当額 (E)						

（注）減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

分析欄

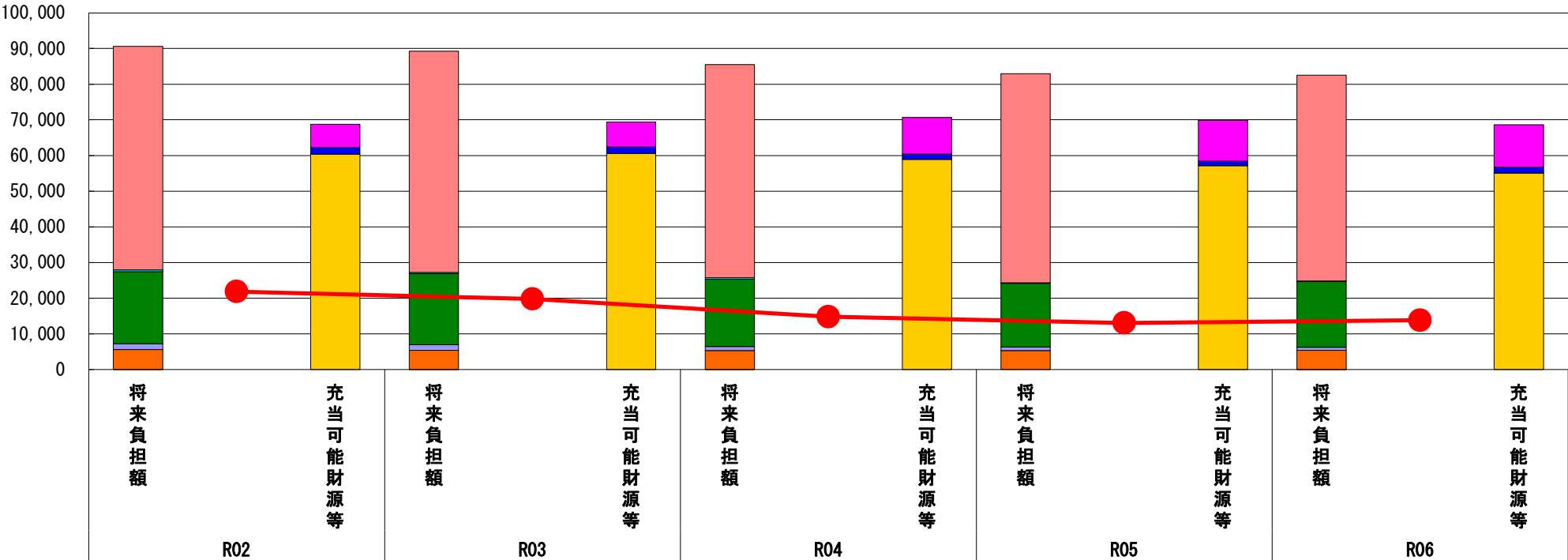
該当なし

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和6年度

鳥取県米子市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		62,714	62,016	59,841	58,619	57,699
	債務負担行為に基づく支出予定額		512	424	374	154	138
	公営企業債等繰入見込額		20,217	19,883	18,859	17,847	18,452
	組合等負担等見込額		1,604	1,604	1,150	1,024	867
	退職手当負担見込額		5,594	5,339	5,318	5,322	5,356
	設立法人等の負債額等負担見込額		2	7	1	0	1
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		6,504	7,082	10,312	11,500	11,992
	充当可能特定歳入		1,867	1,743	1,492	1,242	1,609
	基準財政需要額算入見込額		60,415	60,634	58,887	57,155	55,072
(A) - (B)		将来負担比率の分子	21,857	19,814	14,852	13,069	13,838

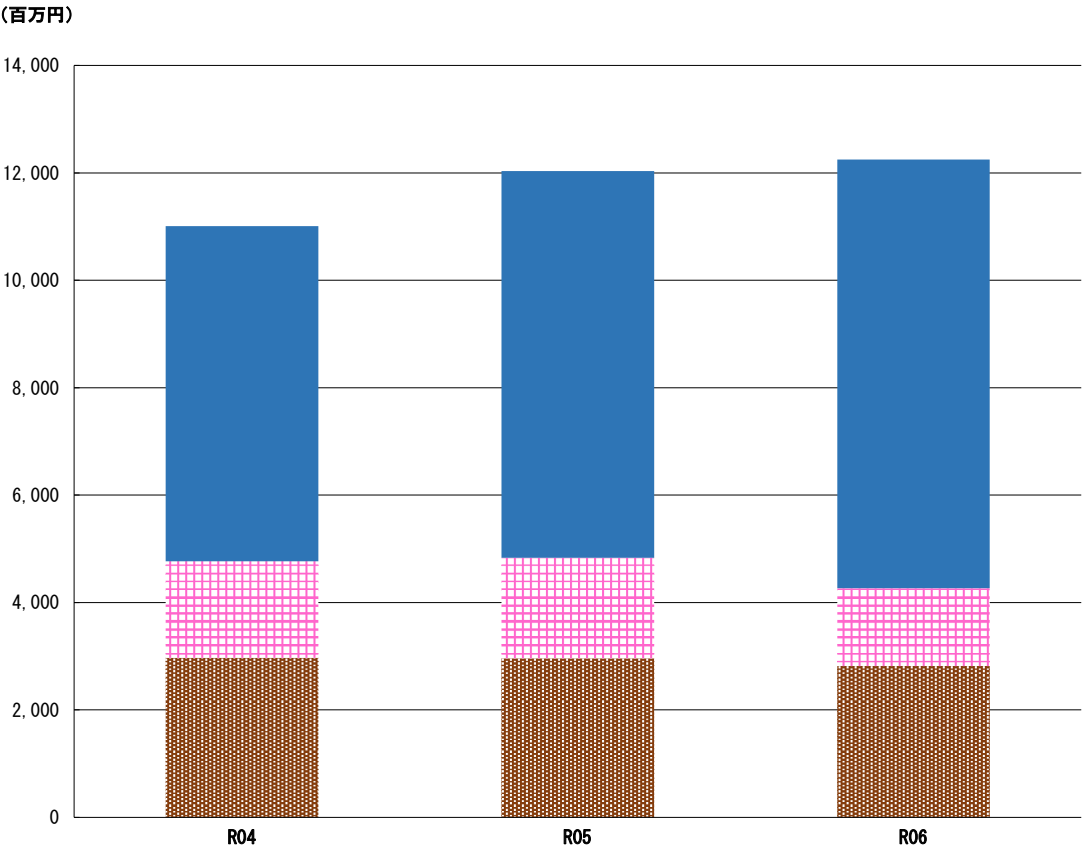
分析欄

一般会計等に係る地方債の現在高は、近年は償還額が新発債の額を上回っていることから減少傾向にあり、将来負担額も同様に減少傾向にある。一方で、充当可能基金は、近年はがいなよなご応援基金等の増により増加傾向にあるものの、基準財政需要額算入見込額は、臨時財政対策債の発行可能額が近年抑制されていること等により減少傾向にあり、充当可能財源等は前年度より減少した。

これにより、将来負担比率の分子は前年度より769百万円増加した。

今後も当面は、大型の投資的事業が続くことから漸増傾向が続くものと考えられるが、投資的経費の選択と集中や国県補助金の確保による公債費の平準化、交付税措置率の高い地方債の活用等により、将来負担比率の100%以下の維持に努めていく。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



年度		(百万円)		
区分	年度	R04	R05	R06
財政調整基金		2, 973	2, 963	2, 823
減債基金		1, 795	1, 869	1, 445
其他特定目的基金		6, 241	7, 204	7, 979
	がいなよなご応援基金	2, 493	3, 235	3, 750
	米子市合併振興基金	2, 149	2, 149	2, 149
	米子市一般廃棄物処理施設整備負担金基金	484	726	968
	米子市公共施設整備等基金	588	566	608
	米子市ふるさとづくり基金	93	93	93
基金残高合計		11, 009	12, 035	12, 248

令和6年度

鳥取県米子市

基金全体

(増減理由)

財政調整基金及び減債基金は決算剰余金処分等の積立額を取崩し額が上回ったことから減少したものの、ふるさと納税寄附額が取崩し額を上回ったことによるがいなよなご応援基金の増（515百万円）や計画的に積立てを行っている一般廃棄物処理施設整備負担金基金の増（242百万円）等により、基金全体では前年度より213百万円増加した。

(今後の方針)

各基金の目的に沿って、必要な額の積立てや適正な運用に努めていく。

財政調整基金

(増減理由)

令和5年度の決算剰余金処分等に伴う積立てを278百万円行ったものの、物価高騰対策等で418百万円の取崩しを行ったため、前年度より140百万円減少した。

(今後の方針)

災害等の不測の事態に機動的に対応するため、決算剰余金処分や債券の運用益等を活用し標準財政規模の10%程度を目安に適切な残高水準の維持に努めていく。

減債基金

(増減理由)

公債費の平準化のため432百万円の取崩しを行ったこと等により、前年度より424百万円減少した。

(今後の方針)

地方債残高は減少傾向にあるものの、交付税措置率の低い地方債の償還が増加していくことを考慮すると、相対的な公債費の負担が増加していくことが想定されるため、決算剰余金等を活用しながら一定の残高の維持に努めていく。

其他特定目的基金

増減幅が大きい主な特定目的基金（①がいなよなご応援基金、②一般廃棄物処理施設整備負担金基金、③公共施設整備等基金）については以下のとおり。

(基金の使途)

①教育環境の充実・子育て支援、中海の環境保全、産業等の振興、地域福祉の充実等の「ふるさと米子」の未来に発展に資する事業の実施。
②鳥取県西部広域行政管理組合が実施する一般廃棄物処理施設の整備に係る事業に対し本市が支出する負担金の財源。
③公共施設の整備及び特定事業の実施。

(増減理由)

①事業実施に伴う基金の取崩し額（1,112百万円）に対し、ふるさと納税寄付金を原資とした基金積立て額（1,627百万円）が上回ったことから、前年度より515百万円増加した。
②計画的な基金への積立て（242百万円）を行った。
③米子駅前ショッピングセンター等の土地、建物賃付料を基金に積立て（42百万円）を行った。

(今後の方針)

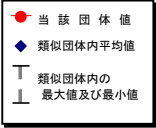
①今後も米子市の発展に資するため、ふるさと納税寄附金の増を図り、積立てや活用を行っていく。
②引き続き計画的な積立てを行っていく。
③米子駅前ショッピングセンターの改修工事は令和5年度に一旦完了しているが、今後の大規模改修に備え、引き続き積立てを行っていく。

(12)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

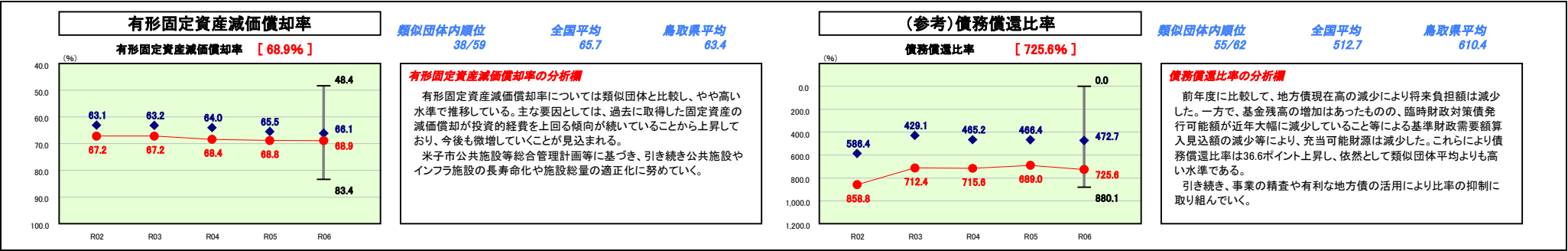
令和6年度

鳥取県米子市

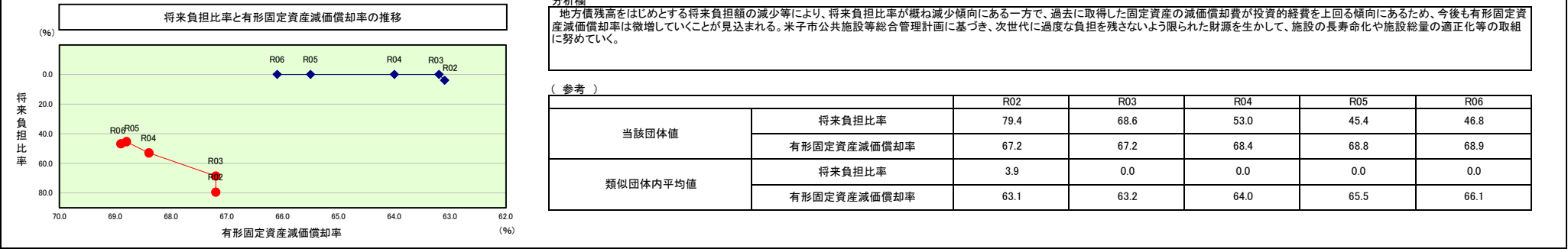
人	口	144,056	人(R7.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%						
う	ち	日	本	人	口	142,326	人(R7.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%		
面	積			積	132.42	km ²		実	質	公	債	費	比	率	9.3	%	
歳	入	総	額	83,199,174	千円			実	質	公	債	費	比	率	46.8	%	
歳	出	総	額	82,148,123	千円			実	質	公	債	費	比	率			
実	質	収	支	569,002	千円			市	町	村	類	型					
標準	財政	規模		33,911,778	千円			(	年	度	毎						
地方	債	現在	高	57,704,427	千円												



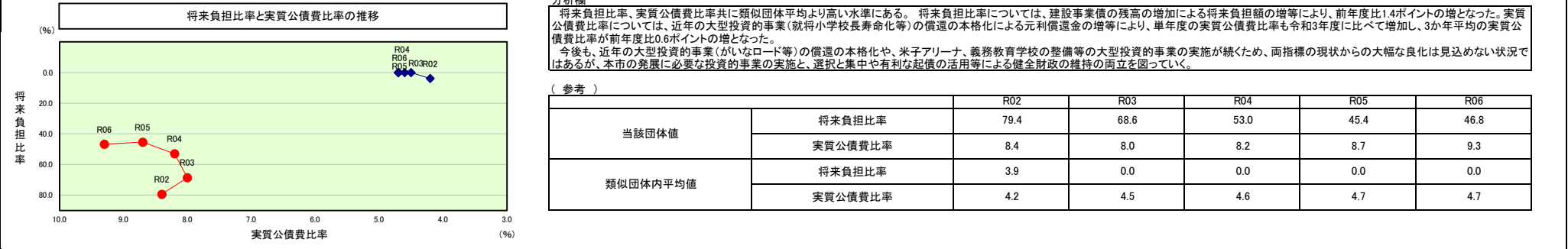
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析



将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



(13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

令和6年度

鳥取県米子市

人口	144,056	人(7.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	142,328	人(7.1.1現在)	通期実質赤字比率	-	%
面積	132.42	km ²	実質公債費比率	9.3	%
歳入総額	83,199,174	千円	将来負担比率	46.8	%
歳出総額	82,146,123	千円	市町村類型	R02 Ⅲ-3 R03 Ⅲ-3 R04 Ⅲ-3	
実質収支	589,002	千円	(年度毎)	R05 Ⅲ-3 R06 Ⅲ-3	
標準財政規模	33,911,778	千円			
地方債現在高	57,704,427	千円			



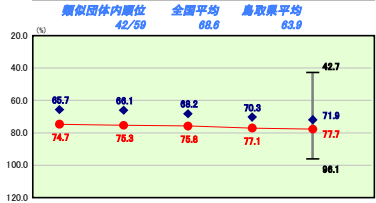
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

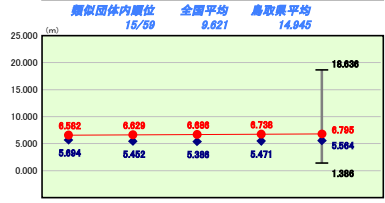
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。

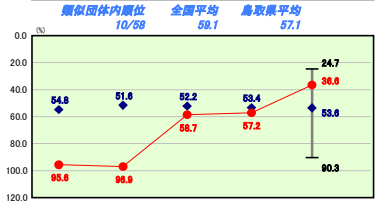
【道路】
有形固定資産減価償却率



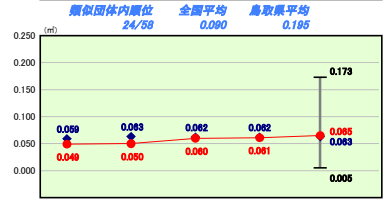
【道路】
一人当たり延長



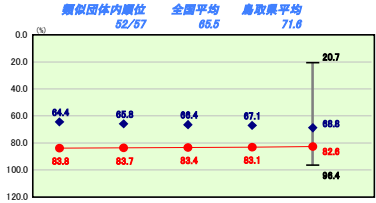
【認定こども園・幼稚園・保育所】
有形固定資産減価償却率



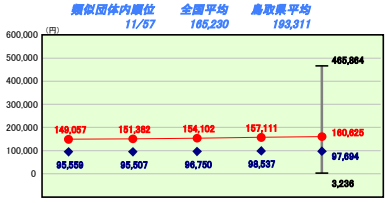
【認定こども園・幼稚園・保育所】
一人当たり面積



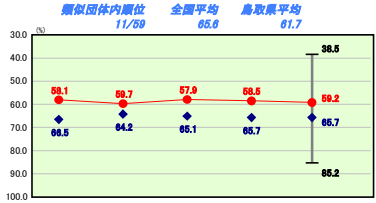
【橋りょう・トンネル】
有形固定資産減価償却率



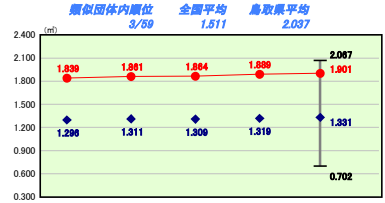
【橋りょう・トンネル】
一人当たり有形固定資産(償却資産)額



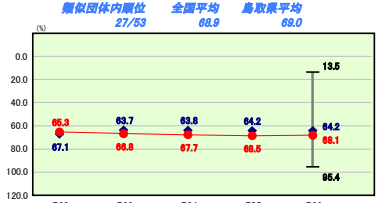
【学校施設】
有形固定資産減価償却率



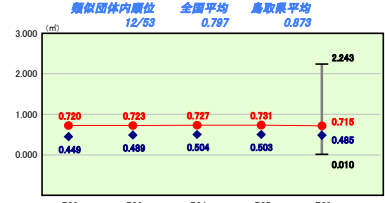
【学校施設】
一人当たり面積



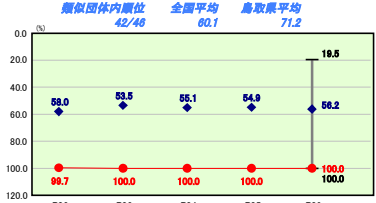
【公営住宅】
有形固定資産減価償却率



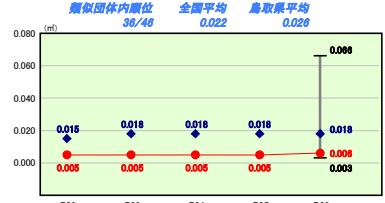
【公営住宅】
一人当たり面積



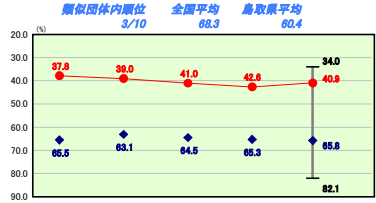
【児童館】
有形固定資産減価償却率



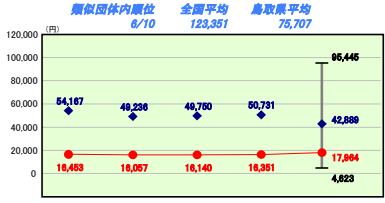
【児童館】
一人当たり面積



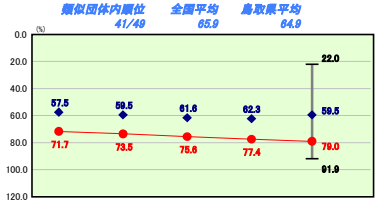
【港湾・漁港】
有形固定資産減価償却率



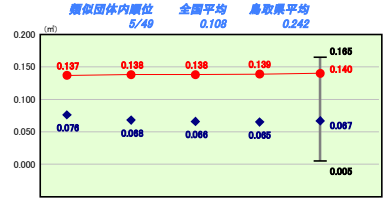
【港湾・漁港】
一人当たり有形固定資産(償却資産)額



【公民館】
有形固定資産減価償却率



【公民館】
一人当たり面積



施設情報の分析値

類似団体と比較して、有形固定資産減価償却率については、全体で2.8ポイント高くなっているものの、近年の公共施設の統廃合や長寿命化、また大型投資的事業の完了等により差は縮小傾向にある。個別に見ると、児童館100%、橋りょう・トンネル82.6%、公民館79.0%等が類似団体と比較しても高くなっている一方で、認定こども園・幼稚園・保育所36.6%、漁港・港湾40.9%等は類似団体と比較しても低くなっている。一人当たり面積については、類似団体と比較して学校や公民館が高くなっている。また全体として一人当たりの面積等が多い施設であるほど概ね減価償却率が高くなる傾向がある。引き続き、米子市公共施設等総合管理計画に基づき、施設の統合、機能集約、長寿命化等に努めるとともに、本市の発展に必要な投資の実施と健全財政の維持の両立を図っていく。

(13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

令和6年度

鳥取県米子市

人口	144,056	人(7.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	142,328	人(7.1.1現在)	通財実質赤字比率	-	%
面積	132.42	km ²	実質公債費比率	9.3	%
歳入総額	83,199,174	千円	将来負担比率	46.8	%
歳出総額	82,146,123	千円	市町村類型	R02 Ⅲ-3 R03 Ⅲ-3 R04 Ⅲ-3	
実質収支	569,002	千円	(年度毎)	R05 Ⅲ-3 R06 Ⅲ-3	
標準財政規模	33,911,778	千円			
地方債現在高	57,704,427	千円			



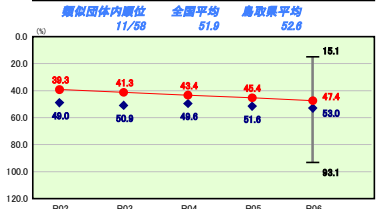
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

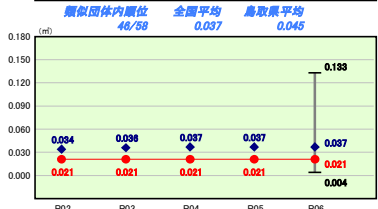
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。

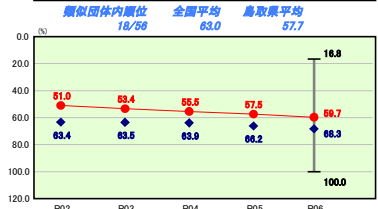
【図書館】
有形固定資産減価償却率



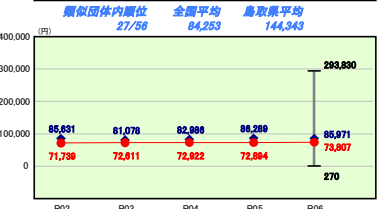
【図書館】
一人当たり面積



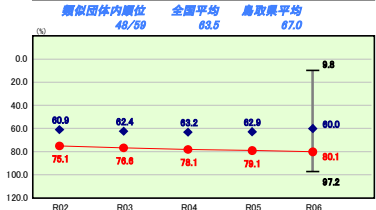
【一般廃棄物処理施設】
有形固定資産減価償却率



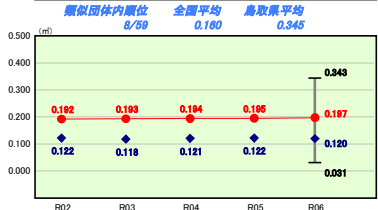
【一般廃棄物処理施設】
一人当たり有形固定資産(償却資産)額



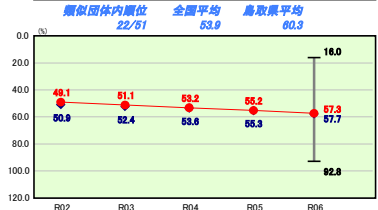
【体育館・プール】
有形固定資産減価償却率



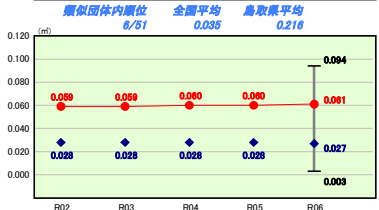
【体育館・プール】
一人当たり面積



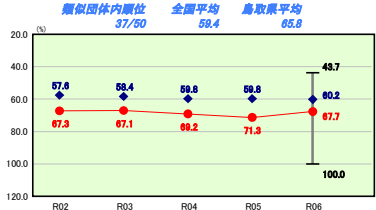
【保健センター・保健所】
有形固定資産減価償却率



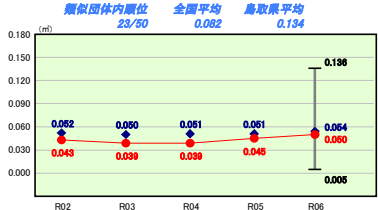
【保健センター・保健所】
一人当たり面積



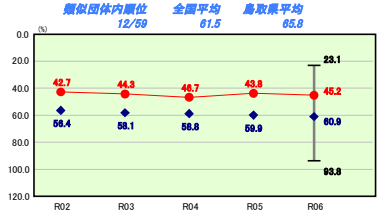
【福祉施設】
有形固定資産減価償却率



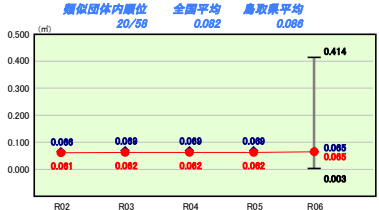
【福祉施設】
一人当たり面積



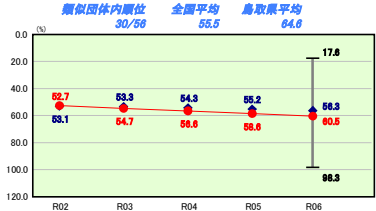
【消防施設】
有形固定資産減価償却率



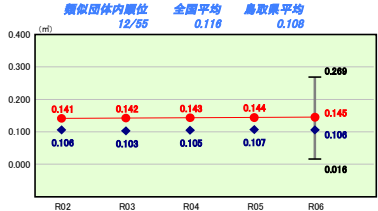
【消防施設】
一人当たり面積



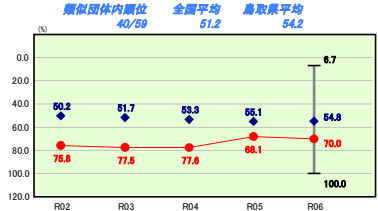
【市民会館】
有形固定資産減価償却率



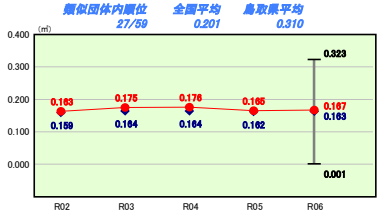
【市民会館】
一人当たり面積



【庁舎】
有形固定資産減価償却率



【庁舎】
一人当たり面積



施設情報の分析値

類似団体と比較して、有形固定資産減価償却率については、全体で2.8ポイント高くなっているものの、近年の公共施設の統廃合や長寿命化、また大型投資的事業の完了等により、その差は縮小傾向にある。個別に見ると、体育館・プール80.1%、庁舎70.0%等が類似団体と比較して高くなっている一方で、図書館47.4%、消防施設45.2%等は類似団体と比較して低くなっている。一人当たり面積については、類似団体と比較して保健センター・保健所、体育館・プールが多くなっているが、これは主に米子市福祉保健総合センター(ふれあいの里)、市営武道館及び地区体育館の影響によるものと推察している。引き続き、米子市公共施設等総合管理計画に基づき、施設の統合、機能集約、長寿命化等に努めるとともに、本市の発展に必要な投資の実施と健全財政の維持の両立を図っていく。